

## 毎週水曜・15名女性限定 イブニングレディースドック

予防医療センターでは、女性疾病に特化したレディースドックを2013年4月に開始。仕事終わりでも行きやすい時間に設定されており、医師やスタッフは全て女性。予約は2015年の1月以降分から可能(2014年10月末現在)。



### ◆検査項目

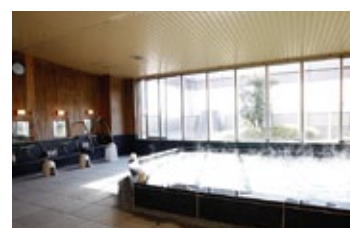
- マンモグラフィ(乳房X線写真)
- 乳腺超音波
- 婦人科内診
- 子宮頸部細胞診
- 経膈超音波 ・甲状腺超音波
- 甲状腺ホルモン ・骨密度

### ◆受付時間

17:45~19:00  
※所要時間/約2時間  
閉館/23:00

### ◆料金

23,760円(税込)  
※検査十入浴・ディナー



展望浴場やリラクゼーションルームも完備。タオルやアメニティも準備されており、仕事帰りでも最低限の荷物でもOK!



検査の後には最上階にある展望レストランで、カロリーや塩分などに配慮したディナーメニューが味わえる



「生活習慣病に加えて  
婦人科の病気にも注意しましょう」

婦人科検診担当  
済生会熊本病院 予防医療センター  
副部長

田中 信幸 先生

熊本大学医学部産婦人科助教授を経て2003年から現職。趣味は読書と日曜大工。

40~54歳・女性のがんによる死亡者数のうち約半数が、乳房・子宮頸部・子宮体部・卵巣と、女性特有の臓器にがんが発生した。子宮頸がんは20~70代、子宮体がんは40~80代で注意が必要です。また女性ホルモンの影響を受けるのは子宮体がんと乳がん、妊娠出産経験がないことも危険因子だと覚えておきましょう。

### 《年齢部位別がん死亡数割合》 ※40~54歳・女性・2012年

年齢\部位	乳房	子宮頸部	子宮体部	卵巣
40~44歳	28.2%	11.0%	2.0%	8.7%
45~49歳	25.9%	8.9%	2.5%	10.3%
50~54歳	25.0%	5.5%	2.8%	10.0%

資料:独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター



今をHAPPYに生きるために知っておきたいコト。

## 女性のカラダ SOS

# カラダの総チェック 人間ドックのすすめ

1年を振り返る時期ですが、貴方の今年の健康状態はいかがでしたか? 自分のカラダを知るためにも是非取り入れたい人間ドックですが、その目的や方法も含めて、モコス世代の女性にとって特に注意すべき点があります。そこで今回は、人間ドックについて正しい知識と意義を学びます。

教えてくださった方/  
済生会熊本病院  
予防医療センター センター長  
菅 守隆 先生



熊本大学医学部を卒業後、熊本大学大学院医学部助教授を経て、2004年より済生会熊本病院勤務。2010年からはセンター長として、地域病院と連携した予防医療に尽力している。専門は呼吸器科。趣味は渓流釣り。

### 早期発見なら怖くない そして受けた後を大切に

「死亡率が高い肺がんを例にとると、症状が出てから見つかった場合に助かる確率は約10%、集団検診のレントゲンで見つかった場合は約50%、自覚症状がなくて人間ドックのCT検査で見つかった場合は約80%に上がります。特定健診や集団検診はもろく重要ですが、さらに詳しい検査を受けたいという方は人間ドックを受けてください。そうすることで、重篤な病気でもより早く見つかりやすくなります。自身も年に1度の人間ドックを欠かさないという菅先生は、そう力説します。「がんだけでなく、糖尿病や高脂血症などの生活習慣病もそうです。早期に分かれば、量も副作用も少ない薬で治療可能。つまり身体的・精神的・経済的にも負担が軽くて済むということ。特に両親をはじめ親族が糖尿病やがんなどを患っている人は自分も同じ病になる可能性が高いので、まずは1回、30代での早めのチェックをお勧めします。」「病気が見つかったら怖い……」ではなく、「病気が見つかったらラッキー!」。人間ドックを受ける時には、そんな心構えがいいのかもしれない。」

### 人間ドックの心得

- その一、人間ドックは、30代でまず1回  
30代後半になると、家族の既往歴がある程度整理でき、自分がかかりやすい病気も分かって来る。また女性特有のがんは男性よりも早く発症するので、とにかく早めの受診を。
- その二、自分にあったドックを選ぶ  
まず1回、標準的なドックを受診後に、隔年のがんや脳などをみる専門的なドックを受診がおすすめ。自分や家族の既往歴に応じた検査内容を含むドック選びも大切。
- その三、忘れないためにルールを決めよう  
予約をしようと思いがち。ついタイミングを逃してしまいがち。そうならないためには誕生日や結婚記念日などドックを受ける日にルールを決め、家族同士でチェックを。

「これは医者は判断や治療がしやすい。定期的に記録を残すというのは、とても重要です。」

### 男性との違いを良く知り 婦人科検診はひと足先に

予防医療センターでも、予約が殺到しているイブニングレディースドック。まさにモコス世代に受けて欲しい検査で、その意義を婦人科検診担当の田中先生はこう言います。「20代から注意しないといけないのが性交渉で感染するヒトパピローウイルスが原因の子宮頸がん、そして20~30代では甲状腺がんや早期の診断が難しい卵巣がんも多い。女性特有の臓器にみられるがんは、男性よりも早い年齢で発症しやすいんです。一般的な人間ドックであれば40歳前後から受け始めますが、女性疾病についてはそれでは遅いことがある。厚生労働省は特に子宮頸がんについて、20歳を過ぎたら2年に1度の検査をすすめているんです。また子宮筋腫や内膜症、骨粗鬆症などは命には関わらない病気ですが、だからこそ治療の選択肢が多い。年齢、今後子どもを希望するかしないか、筋腫であれば一部なのか全部摘出のかなど

### がん以外にも注意!の女性疾病

- ◆子宮筋腫  
子宮中心部にあると1~2cmでも出血や痛みがひどく、逆に子宮外の場合は10センチ以上でも症状が無いことも。通常複数あり、多い場合は数十個見つかる。経膈超音波検査が有効。
- ◆骨粗鬆症  
女性は男性よりも最大骨量が低く、また閉経によるホルモン変化で、急速に骨量が低下する。若いうちに最大骨量を増やすことが重要。
- ◆甲状腺異常  
代表的なのはバセドウ病。月経不順や不眠、不妊の原因になり、一部では胎児に影響を与えるという報告も。妊娠希望の場合は、是非検査を。

## 社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 予防医療センター

予防医療を目指した、熊本を代表する人間ドック施設。完全予約制で、年間の受診者数は約34,000人。日帰りドック43,200円~、2日間ドック71,280円~(いずれも自費の場合)。



Tel.096-351-8155  
※予約専用(月~金曜、8:30~17:00)  
〒熊本県南区近見5-3-1  
※HPは「済生会熊本病院予防医療センター」で検索

健康あつての人生。新年に向けて、人間ドックでの総チェックを考えてみませんか?  
様々な状況を見極めて、その後の治療法を決めることが重要です(田中先生)。  
加えて、40代以上になれば子宮体がんの検査も必要です。自治体の集団検診などで、子宮がん検診と言っている場合は、子宮の入り口に発生する頸がんの検査を言います。子宮の奥にできる体がんはピークが50~60代、検査自体も頸がんとは別なので、間違えてはいけません。婦人科の検査を受けた場合は子宮頸部・体部・卵巣など、どの部分を調べたのかを、きちんと把握しておきましょう(田中先生)。  
体がんの検査は器具を奥まで挿入しての細胞診のため、少なからず痛みや違和感を伴います。分娩経験がない、帝王切開での出産だった、閉経しているという場合は少し難しいのですが、「当センターには、麻酔を使わない体がん検診を目的に、わざわざ県外から来られる方もいらっしゃいますよ。そう話す田中先生の、検診も選ぶ時代、選ばれる時代という理念に納得です。」